

科目名	介護演習 I				担当	穂谷 かつ江				
形態	演習	単位数	1	開講時期	2年通年	実務経験	介護支援専門員、看護師として勤務経験あり			
必修	介護：必修				ナンバリング	Y3502	DPとの関連	4		
授業概要	人間の体を動かすための基本的な考え方を学ぶ。また、食べるための大切な器官である歯と口の中の健康管理の重要性を学ぶ。そして、生命を維持していくための食を考える。									
到達目標 学習成果	○力だけで人の体を動かすのではないことが理解できる ○リハビリテーションの役割が理解でき、介護予防の為にも必要なことが理解できる ○歯と口腔の管理が生命を維持する第一歩であること。また、その方法が理解できる ○高齢期の食事と栄養管理により健やかな老後を送るために基本であることが理解できる									
授業計画	回	内容								
	1	介護技術の基本			介護技術の考え方とリスクマネジメント					
	2	〃			介助の5要素と介助の視点					
	3	医療との連携とリハビリテーション			リハビリテーションの意義と理念・目的					
	4	〃			医療・介護とリハビリテーション					
	5	ボディメカニックスの活用			骨・筋肉・関節の基礎知識					
	6	〃			ボディメカニックスその活用で身体を守る。					
	7	食事と栄養			高齢者の食事					
	8	〃			栄養管理					
	9	〃			高齢者の食事形態と調理方法					
	10	〃			低栄養予防					
	11	口腔ケアの基本			歯科衛生の基本と考え方			幼児		
	12	〃						高齢者		
	13	〃			口腔衛生の意義と具体的方法			幼児		
	14	〃						高齢者		
15	介護の基本（まとめ）			自立した生活を支える						
評価基準	高齢者・障害者の健康な生活を維持するための基本知識が理解できれば「可」 健康を維持するために、必要な方法論まで理解ができれば「良」 健康維持、増進までの理解ができれば「優」予防までの視点が理解できれば「秀」									
評価方法	授業態度及び実技実施状況 50% 修了課題レポート 50%									
フィードバック 方法	自己評価表により、自らの到達状況を確認していく									
アクティブ ラーニング	グループワーク、ロールプレイを演習にて実施していく									
教科書	『介護職員初任者研修テキスト』第2分冊（QOLサービス）									
参考書	授業内で資料等提供する									
履修条件	本科目は、介護職員初任者研修の必修科目であるため、原則欠席は認めない。当該課程履修予定者は必ず履修すること。									
授業外学習	事前学習：授業計画で示された事項について、日常的に好奇心をもち、読書（教科書関連箇所含む）や友人との討議の機会をつくり思考を深めること。（30分） 事後学習：授業で扱われた事項に関する学びと自己の課題を考察すること。（1時間）									
オフィスアワー	授業終了後に質問等を受け付ける									